



出走申告書

私は本レース大会の特別規則に従い、下記の通り出場車両の改造（変更・取付け・除去）について申告いたします。

レース大会名	2025-CLUBMANロードレース第 戦	開催日	2025年 月 日
クラブ名		クラブNo.	
ライダー名		MCFAJ会員No.	

◎出場区分

資格	クラス	車 番（ゼッケン）
(N)・(E)		

◎出場車両

メーカー名	モデル名	年 式	排気量	型 式 - 車 台 N o .
			CC	

車両改造申告

項 目	有 無	内 容	項 目	有 無	内 容
フレーム関係	有 無		オイルクーラー(4st車)	有 無	
シリンダー	有 無		エキゾーストパイプ	有 無	
シリンダーヘッド	有 無		サイレンサー	有 無	
ピストン	有 無		ステップ	有 無	
気筒容積	有 無	ボア(m/m)×ストローク(m/m)	ハンドル	有 無	
カムシャフト(4st車)	有 無		フロントクッション	有 無	
クランクシャフト	有 無		リヤクッション	有 無	
バルブ(4st車)	有 無		F&Rブレーキ系統	有 無	
ミッション	有 無		タイヤ（銘柄）	(BS)(DUL)(MI)(PI)(Mez)(AV)他()	
キャブレター	有 無		その他	有 無	

★自己申告の欄には各自○印で申告をすること。
申告の無いものは車検の列に並べません。

服装 & 車両検査票

項 目	自己申告	備 考	項 目	自己申告	備 考
MCFAJ会員証	済		●オイルドレンボルト	済	ワイヤーロック
フルフェイスヘルメット	済	スネルM2010～2020・FIM	●トルクアーム	済	ワイヤーロック
ヘルメットリムーバー	済		●Fアクスルシャフト	済	ワイヤーロック
レーシングスーツ	済		Rアクスルシャフト	済	ワイヤーロック
ブーツ & グローブ	済	検	●Fブレーキキャリパー	済	ワイヤーロック
脊椎パッド	有・無	印	Rブレーキキャリパー	済	ワイヤーロック
チェストプロテクター	有・無		●オイルフィルター(4st車)	済	ワイヤーロック
ハンドル回転角度	済	左右20度以上	再検項目		
ハンドルとタンクの隙間	済	30mm以上			
ブレーキレバー	済	19mm以上の球形			
クラッチレバー	済	19mm以上の球形			
傾斜角	済	50度			
オイルキャッチタンク	済	容量 CC			
ゼッケン・書体／ベース	済	フーツラボールド			
サポートゼッケン	有・無				
4st車：アンダーカウル	済	容量 CC			
F.スプロケットガード	済				
R.スプロケットガード	済	検			
エンジンケース2次カバー	有・無	印			
ビデオカメラ	有・無				



< 注 意 事 項 >

- 1.参加受付（参加賞）はクラブ単位で大会事務局受付にて配布します。
- 2.トランスポーターは車両通行証を付けて公式通知に示された場所に駐車すること。
- 3.参加者(ライダー及びピット要員)は必ず2025年度MCFAJ会員証(ライセンス)を身につけて入場すること。
- 4.レース組合せ、周回数等、予告なく変更になる場合があります。ライダーミーティングには必ず出席カードを持参し出席すること。ミーティング後に回収し出席の有無を確認します。
- 5.保険の適用は大会当日のみです。練習等のケガには適用されません。
- 6.車検合格の「出走申告書」は車検審査長が保管します。（スタート前チェックでの回収はせず、車検合格シールとゼッケンナンバーの確認のみ）

●車両検査

- 1.車両検査は公式通知に示された時間に従い、車検場において行われる。
- 2.出場ライダー及びメカニックは車両及び下記装備品を持参し、決められた時間内に検査を済まなければならない。また、検査締め切り後の車検は大会審査委員会が特別に認めた場合以外は行われない。

< 装備品 >

- 出走申告書（記入済のこと）
- MCFAJライセンス
- ヘルメットの規格は「スネル2010・2015以降またはFIM規格」適合品でなければならない。（FIM FRHph-01規格も使用可能）ロード用ヘルメットかつフルフェイス型であること。オフロード用やゴーグル装着は認められない。未公認ヘルメットは車検時に検査を行う（公認ステッカー代100円）。
- レーシングスーツ（**脊椎パッド装着義務**）・グローブ・ブーツ・ヘルメットリムーバー
- 3.車両検査はライダー本人及びメカニックの2名以上で受けなければならない。
- 4.車両検査において規格違反または安全上出場が危険と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5.主催者は大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。
- 6.再検査の場合は再整備の上もう一度検査を受けること。なお、役員の指示に従わない場合は出場停止もしくは始末書処分とする。
- ゼッケンの書体はフーツラボールド体とし、大きさ色とも明瞭に判断出来るものとする。

見本→ **1234567890**

※2009年度よりシートカウルのサポートゼッケンナンバーは上部1カ所でも可としております。

ただしその際、サポートゼッケンは必ず装着のこと。

- ワイヤーロックは（特に下記の1～5の重要箇所）については確実にロックすること。ワイヤーはステンレス製とし0.6mm以上。

※ワイヤーロック最重要箇所

- 1.オイルドレンボルト&フィルターキャップ
- 2.トルクアーム取付けボルト
- 3.前後アクスルシャフト取付けボルト
- 4.前後ブレーキキャリパー取付けボルト
- 5.オイルフィルター取付けボルト（カートリッジ式の場合は脱落しないようワイヤーで固定すること）

- オイルキャッチタンクは走行前に必ず**空の状態**にすること
- 全ての4スト車両は必ずアンダーカウルを装着し、オイル溜としなくてはならない。
- 車検時には4スト.2スト車ともアンダーカウルを**取り外して**検査を受けてください。（車検時アンダーカウル持参のこと）
- 車載ビデオカメラ装着の車両は車検時に届出書を提示してください（車検場で配布）